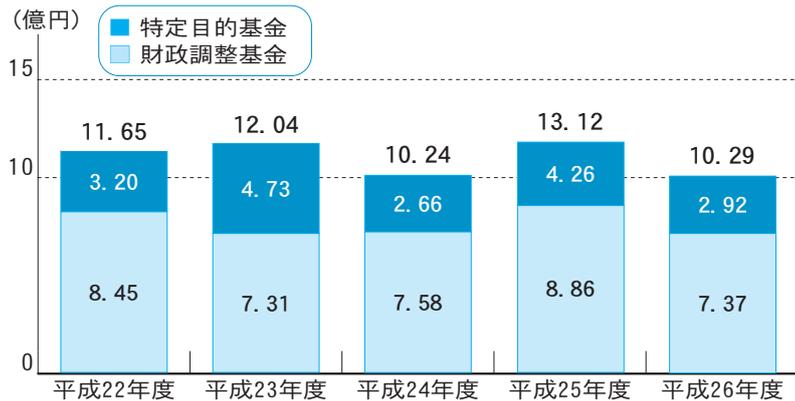
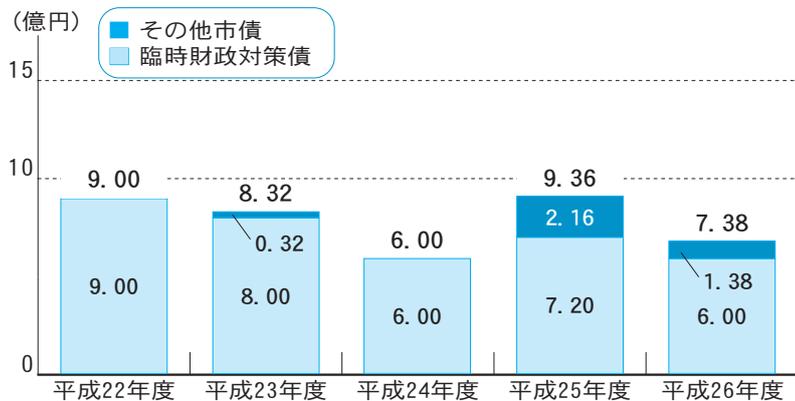


「基金」からの繰入額の推移 ※当初予算額



「基金」は、将来のまちづくりの備えた積立金で、家庭でいう「貯金」にあたります。「財政調整基金」は、経済事情の変動などによって財源が著しく不足する場合などに活用される財源調整のための基金です。平成26年度は基金から10億2912万円繰り入れ、この内、財政調整基金の繰入金は7億3734万円としました。

「市債」借入額の推移 ※当初予算額



「市債」は、家庭でいう「借金（ローン）」にあたります。平成26年度は7億3800万円の借入れを行うこととしました。この内、臨時財政対策債の借入金は6億円としました。各年度における当初予算の「基金」の繰入額と「市債」の借入額は左の表のとおりです。

「基金」からの繰入額と「市債」借入額の推移



僕もおこづかいを大切に使おう！



太郎家の家計簿

市の平成26年度一般会計予算208億8,000万円を、毎月の家計費20万円に置き換えてみると…。



太郎くんの家では、給料が9万8,400円のため、月の家計費20万円には10万1,600円不足してしまいます。そのため、親からの仕送りや貯金の取り崩し、銀行からの借入れを行うなどして家計費を補っています。

借金をしたり、貯金を崩したりすることがなるべく少なくなるように、支出の面でも将来のことを考え、無駄使いをしないなどの努力をしています。しかし、家族の医療費なども必然的に増加してしまい、厳しい家計状況はここ数年変わっていません。

将来への貯蓄も必要なので、太郎くんには、引き続きいろいろと協力してもらわなくてはなりません…。

収入		支出	
給料（市税）	98,400円	子どもへの援助（補助費等・繰出金）	56,100円
親からの仕送り（国・都支出金、地方譲与税など）	63,000円	医療費（扶助費）	56,100円
ものを売ったお金、貯金の利子や配当（その他）	14,600円	食費・家賃（人件費）	32,600円
貯金の取り崩し（基金繰入金）	9,800円	光熱水費・電話代（物件費）	31,800円
銀行からの借入れ（市債）	7,100円	ローンの返済（公債費）	10,900円
パート収入（使用料・手数料、分担金など）	6,100円	家や庭の修理・整備、家電製品購入（普通建設事業費）	9,100円
前月から繰り越したお金（繰越金）	1,000円	その他（積立金等）	3,400円
合計	200,000円	合計	200,000円

※（ ）内は市の予算に置き換えた費目を表します。



平成 26 年度の 主な事業

平成 26 年度予算書は、市役所 1 階市政情報コーナー、図書館のほか、市公式サイトでもご覧いただけます。

基本目標 1 生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

子育て支援と保育・幼児教育の充実

- 子ども・子育て支援事業計画の策定 218 万円
- 子ども・子育て支援新制度に伴うシステム導入
1,642 万円
- 民間保育園施設整備の支援 3 億 3,814 万円
- 子育て世帯臨時特例給付金事業 7,434 万円

学校教育の充実と次代を担う子ども・若者の育成

- 多様なニーズに応じた特別支援体制（インクルーシブ教育システム）の構築 547 万円
- 松林小学校・羽村西小学校特別支援学級の開級（準備）
953 万円
- 放課後子ども教室の推進 658 万円
- 小・中学校音楽活動の推進（楽器・ユニフォームの整備）
505 万円

生涯学習の推進

- 読書手帳の配布 20 万円
- 多摩・島しょ子ども体験塾事業の実施 187 万円
- 伝統文化交流事業 in ゆとろぎ 640 万円
- 多摩・島しょスポーツ振興事業の実施 200 万円



▲（上）子育てひろば（下）羽村市図書館

基本目標 2 安心して暮らせる支えあいのまち【福祉・健康の分野】

助けあい支えあう福祉社会の実現

- 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定
376 万円
- 障害者計画及び障害福祉計画の策定 498 万円
- 地域自立支援協議会の運営 15 万円
- 成年後見制度利用支援事業 45 万円
- 生活保護業務年金調査員の配置 48 万円
- 臨時福祉給付金事業 1 億 2,398 万円

安心を支える健康づくりと保健・医療の充実

- 健康はむら 21（第 2 次）の策定 351 万円
- 30 歳・35 歳健康診査 358 万円
- 乳がん検診の集団検診 64 万円
- 特定健康診査の集団健診（特別会計） 37 万円
- 特定不妊治療費助成事業の推進 250 万円



▲はむら健康の日